

月刊



はあむふるあたご

10月 第26号

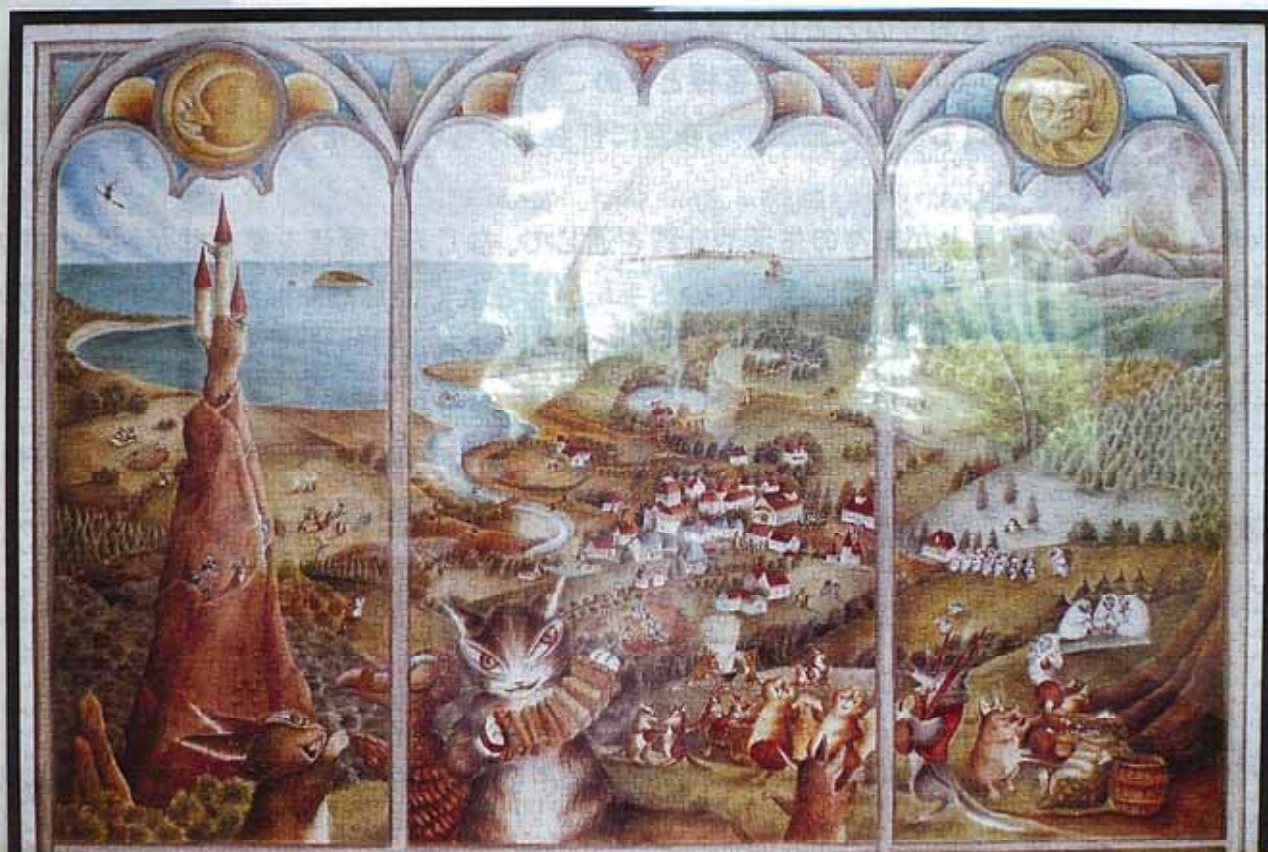
＜発行＞平成 19 年 10 月 1 日

＜発行元＞〒951-8051 新潟市中央区新島町通三の町 2284 番地

＜発行者＞ 木村 淳

株式会社 はあとふるあたご

電話 025(228)5000(代) FAX025(228)4000



「ジグソーパズル」

デイサービスセンター河渡本町 お客様

芳賀 千代様

目次

事業所だより・・・・・・・・・・・・・2 シリーズ 私の自慢・・・・・・・・・・・・・8

小林教授のコラム 第4回・・・・・・・・・・・・・5 伊東先生のコラム 第26回・・・・・・・・・・・・・11

私のおすすめ・・・・・・・・・・・・・5 ホットニュース・・・・・・・・・・・・・12

野球観戦記・・・・・・・・・・・・・7 編集後記・・・・・・・・・・・・・12

事業所だより

通いなれたデイサービスで、気心知れたスタッフと！！住める！泊まれる！！

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

★ご挨拶

はじめまして。この度、当施設のセンター長に就任した大瀧と申します。

この水原の施設は、通所施設と短期入所施設の併設型で「通って、泊まることもできる」という大きな特徴を持っています。ですから初めてのお泊りでも、通いなれた場所で顔見知りの職員がすぐそばにいる安心感があり、通われている方とお泊りの方との交流も持てます。先日の水原まつりでは、日頃ご利用下さっている通所のお客様とそこそ家族様をお招きして、短期入所のお客様と職員も一緒に施設から夜空に打ち上げられる大花火に拍手喝采を送りました。

私共は、お客様と職員とが日々の生活や介護を通じて、なじみの関係を築きながらお客様の新たな能力を引き出し、自立した生活に向けてのお手伝いをさせていただきよう、これからも努力を重ねていく所存でございます。どうか今後も、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

大瀧 厚子

電話 0250-62-8888(デイ) 0250-62-8886(ショート)

FAX 0250-62-8887(デイ・ショート共通)

グループホーム五泉

8月24日に、五泉市巣本小学校の児童6名の皆様がよさこい踊りを当ホームにて披露してくださいました。

普段、児童と接する機会がないので、お客様方みなさまとても喜んでいらっしゃいました。

子供のパワーは、とても大きなもので私たちとは違った活力、よい影響をお客様方に与えてくださいました。



「おめさんがた、ありがとね。また踊りを見せてね」「いいこちゃんだねー。ほれ、お菓子持ってきたせ。ほら、あそこの子供にも持って行ってやりなせ」など、お客様方が普段私共に見せてくださるものとは、また違った一面を拝見することが出来て、とても嬉しく思いました。

今後も、日常の中にある非日常の時間を多く設け、より楽しい生活を支援していきたいと思ひます。

グループホーム五泉

岡田 健

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

「福祉用具課」

今回は、特定福祉用具についてお話致します。

特定福祉用具とは介護保険で福祉用具購入費の支給を受けられる対象となっている福祉用具です。対象となる福祉用具購入の際、費用をいったん全額お支払いいただき、市町村に申請しますと限度額（4月から翌年の3月までの1年間につき10万円）の9割が支給されます。

対象となる福祉用具は、下記の通りです。

1. 腰掛便座・・・ポータブルトイレ 補高便座（様式便器の上に置いて高さを補うもの）
腰掛便座（和式便器の上に置いて腰掛式に変換するもの）など
2. 特殊尿器・・・尿が自動的に吸引される機能の付いた尿器
3. 入浴補助用具・・・入浴用いす 浴槽内手すり 浴槽内いす 入浴台（バスボード）
浴室内すのこ 浴槽内すのこ
4. 簡易浴槽・・・空気式又は折りたたみ式であって容易に移動できる物
5. 移動用リフトのつり具の部分

これらの、詳しい説明については、次回からお話致します。お楽しみに♪。

お問い合わせは

福祉用具課

柳都大橋 025-228-5002

新 発 田 0254-23-1173

デイサービスセンター松浜

デイサービスセンター松浜では、今年も恒例の「夏祭り」を開催致しました。

色とりどりの提灯や揃いの法被、民謡の音色に、皆様口々に「わくわくするねえ」と、まるで子供の頃に戻られた様な素敵な笑顔を見せて下さいました。また、“かき氷”や“綿菓子”、“ポップ焼き”を召し上がると、「懐かしいねえ」「おいしいねえ」と、とても喜んで下さり、中には、“ポップ焼き”を一緒に作って下さるお客様もいらっしゃいました。



そして、いよいよクライマックスです。仮装をした職員が“松健サンバ”を華麗に踊ると、お祭りのボルテージは一気に頂点に達し、松浜の花火に負けないくらいの盛り上がりとなりました。お客様も職員も、時が経つのを忘れるくらい大いに楽しんだ、素敵な夏の一時でした。

デイサービスセンター松浜

石崎 徳幸

電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

グループホーム新津

★花火大会

8月24日、星空の下、花火大会が行われました。

お客様に満足していただけるよう、職員はこの日のために、色々と準備をしてきました。

その結果・・・大成功 !!! 「キレイだねえ!」「もう1本しよう!」と、皆様とても楽しそうで、笑顔の絶えない時間となりました。

お客様に、満足し喜んでいただくことが、私達職員の満足であり、喜びでもあります。



これからも、色々な行事を考えております。

もっともっと、お客様に満足して喜んでいただけるように、様々なアイデアを盛り込んでいきたいと思っております。

グループホーム新津

小澤 淳貴

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889



デイサービスセンター横越

8月29日、30日、当センターでは、納涼祭をおこないました。

出店は、カキ氷・わたあめ・たこぼっぽ（ぼっぽやき風お菓子）で、お客様方は幼少の頃にもカキ氷やわたあめを召し上がったということで、「懐かしい」とおいしそうに召し上がっておられました。また、水ヨーヨーと輪投げのゲームコーナーを用意し「あたった景品は何かな・・・」と、うれしそうに開けられて、ちょっぴり童心に帰られたように楽しまれていらっしゃいました。



また、職員による『歌謡ショー』があり、ザ・ピーナッツならぬ「ザ・美ナス」、氷川きよしならぬ「水川きよし」が登場し歌をうたったり、フラダンスを踊ったり。お客様の中にも民謡を歌ってくださる方もいらっしゃって、とても盛り上がりました。

お客様と職員、本当に楽しいお祭りを過ごしました。

デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025-385-2235 FAX 025-385-2236

小林教授のコラム 第4回

新潟医療福祉大学 小林量作

高齢者と生活不活発病

前回に引き続き中越沖地震に関連した話です。地震後避難所で過ごしていた高齢者は「何にもやることなくてえ、困ったてー」と嘆くくらい、運動不足ということが話題になりました。実は中越地震でも同じような状況で、要介護者の生活機能が悪化したことが問題になっていました。これらは生活不活発病と言われ高齢者の大きな問題になっています。生活不活発病は字のごとく不活発な生活が原因で体の機能が衰えることで、運動や心の状態に悪影響を及ぼします（専門的には廃用症候群ともいう）。自宅にいるときは、家事、ちょっとした家の周りの仕事、買い物やお茶のみ友達訪問など体を動かすことがあったのですが、避難所では本当にすることがないですね。そこで、いろいろなボランティアが参加して体操やレクリエーションをすることで体を動かしています。

生活不活発病は普段の生活でも生じています。高齢者が「もう歳だから……動くのが難儀、めんどくさい」と思うところには、このような生活不活発が影響していることが少なくありません。また、周囲も「歳だから」「危ないから」と行動を制約していることあるかも知れません。このような方々には、体操をすることも大切ですが、最も大切なことは日常生活でどんな些細なことでも体を動かし、それが少しでも家族や周囲の人たちに誉められたり、本人が楽しかったりすることを見つけることが大切のように思います。高齢者の手持ちぶさは要注意です。

私のおすすめ！！

デイサービスセンター河渡本町 米内山 寛規

★奥入瀬溪流（青森県十和田市）

今回は私の出身地である青森県の奥入瀬溪流（おいらせけいりゅう）をご紹介します。

奥入瀬溪流は、青森県十和田市十和田湖畔子の口（ねのくち）から焼山までの約14kmの奥入瀬川の溪流です。溪流沿いにはいくつもの滝が点在し、この道は「瀑布街道」とも呼ばれています。十和田湖への魚の遡上を阻止してきた魚止めの滝でもある「銚子大滝」をはじめとして、「阿修羅の流れ」、「雲井の滝」等多くの景勝地があります。これからの紅葉の時期は特に美しく、おすすめです！秋のご旅行に是非お出かけしてみたいかがでしょうか？

銚子大滝



阿修羅の流れ



デイサービスセンター坂井東

★バレエ・フレグランス様

9月2日（日）に、バレエの団体グループ「フレグランス」の皆様による美しいクラシックバレエのダンスを披露していただきました。今回は小学校1年生から4年生の構成でしたが、メンバーは、50人位はいらっしゃるということです。曲は3曲ほどで、1曲ごとに衣装を変えていただき、大人顔負けのダンスにお客様は、感動されていました。最後にお客様と記念撮影を行い、こどもさんの愛くるしい笑顔にお客様もとてもほほえましい表情を浮かべていました。素敵な演技を披露してくださったメンバーの皆様、本当にありがとうございました。暑いなかおつかれさまでした。今後の活躍を期待しています。



デイサービスセンター坂井東

佐藤 深雪

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

デイサービスセンターさかえ

去る9月2日、三条市や旧白根市など各地で活動されている『赤塚 明カラオケ教室』の皆さまがお越しくださいました。当日は、カラオケ講師の赤塚先生をはじめ、三条教室の代表で岡田様、土田様、渡辺様が歌謡ショーを開催して下さいました。

“みなさんが知っている歌を披露したい”という赤塚先生のご配慮で、“二輪草”や“かえり舟”、“旅の夜風”などのデュエット曲を計11曲披露して下さいました。



この日を楽しみにされていたお客様も大勢いらっしゃり、歌に合わせて手拍子される方や一緒に口ずさまれる方もあり、会場は熱気ムンムンで大変盛り上がりしました。

最後は、参加した全員で“星影のワルツ”を歌いました。マイクを向けられると、皆さま大

きな声で熱唱されていました。歌謡ショーの後は、先生やメンバーの皆さまと握手をしたり、写真を撮ったりし、どなたもいつも以上に素敵な笑顔をされていました。赤塚先生と三条カラオケ教室の皆さま、素敵な歌声と楽しいひとときをありがとうございました。



デイサービスセンターさかえ

富樫 亜希子

電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

野球観戦記

6月1日（金）、五十公野野球場にて、新潟アルビレックスBC対富山サンダーバーズの試合が行われました。私どもはあとふるあたごでは、いつもお世話になっている方々に内野席の招待チケットをお配りさせて頂きました。

当日は風も冷たく少し肌寒い日でしたが、会場の外では新潟アルビレックスBCグッズの出店や飲食店などがあり、ファンの方々が並んでいました。スタンドも新潟アルビレックスを応援する観客が大半を占め、大変盛り上がっていました。実際、選手が投げるボールのスピードはとても速く、テレビで観る野球よりも迫力がありました。選手の一挙手一投足に声援と歓声が響きます。途中には、入場券での抽選会や、攻守交替の時にはアルビレックスチアリーダーズのパフォーマンスもあり、さらに会場は盛り上がりました。7回の攻撃前には、ファンによる「ジェット風船飛ばし」があり、新潟アルビレックスBCの応援は益々ヒートアップしていました。

その応援と願いは選手まで届き、試合は2対1で新潟アルビレックスBCが勝利しました。

センターのお客様にも是非見て頂いて、この興奮と感動を分かち合いたいと思いましたので、野球観戦を企画すべく行動開始！！



（デイサービスセンター城北町 小泉）

「居宅介護支援センター」

★安心できる居場所

88歳のA様はデイサービスに通いはじめて5年になります。

いつの頃からか、いつもデイサービスで生活されていると思い込むようになりました。

訪問させていただくと、「あんたもいたんかねー早く家にかえりましょ」と声をかけられますので、「もう少し一緒にしませんか？」とお返事いたします。

奥様にも、「職員さん、早く送って下さい」とおっしゃいますので、奥様も「まだ時間じゃないからもう少ししたらね！！」と上手に受け答えされます。

A様は心の中にある家や家族を捜していらっしゃるのでしょうか。

ご家族様が、それを理解されて今回のケースのように対応できるまでには、いろいろな思いがおりになったことでしょう。

叱ったり、否定するのでなく同じ世界で会話ができることが大事です。

A様を取り巻く環境が、安心できる環境であるようにこれからも支援させていただきたいと思っています。

居宅介護支援センター横越

山口 和子

電話 025-383-2230 FAX 025-383-2236

デイサービスセンター河渡本町

去る8月24日～26日、デイサービスセンター河渡本町にて夏祭りを開催いたしました。24日は聖徳保育園の園児さんによる歌と踊りをご覧になり、子供たちの元気さにびっくり！お客様は皆様笑顔で交流を楽しまれていました。25日・26日はおみこしの登場です。夏祭りに向けてお客様全員で協力して作られたおみこしを、男性のお客様に担いで頂き、センターは大いに盛り上がりました。おみこしを担いだお客様も「わっしょい！わっしょい！」と昔を思い出されたように楽しそうでした。



他にも昼食のバイキング、わたあめ、かき氷、ポッポ焼きなどお食事でもいつもとは違う雰囲気を楽しんで頂けたと思います。ビンゴゲームではお孫さんへのプレゼントにと真剣に景品選びをされるお客様もいらっしゃり、それぞれにお祭りを楽しまれたご様子でした。これからも、お客様と共に楽しめるイベントを企画していきたいと思っています。

デイサービスセンター河渡本町 米内山 寛規

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

シリーズ 「私の自慢」 No.24

「ジグソーパズル」

デイサービスセンター河渡本町 お客様 芳賀 千代様

デイサービスセンター河渡本町のお客様、芳賀 千代様のジグソーパズルをご紹介します。芳賀様がジグソーパズルに本格的に取り組まれたのは1年ほど前だそうです。お子様がやっているとところを見て一緒にやっていたら、だんだん面白くなられ、ご自分でもやられるようになったそうで、「いい暇つぶしになるよ」とのことです。初めは小さいパズルだけだったそう



ですが、だんだん大きいパズルに取り組まれるようになり、表紙のパズルは約2000ピースのパズルです。パズルが少しずつできてきて形が見えてくるところがパズルの面白いところで、一度やり始めると完成するまで気になって一日何時間もパズルをすることもあるそうです。

表紙の写真のパズルは、デイサービス玄関に飾らせて頂いておりますので、センターにお越しの際は是非ご覧になって下さい。

デイサービスセンター柳都大橋

デイサービスセンター柳都大橋では「柳都夏祭り」を去る8月17・18・19日の3日間、開催いたしました。

去年からはじまったこの夏祭りですが、今年はさらにパワーアップ！屋台ではカキ氷、わたあめに加えお好み焼きもあり、ホール内はソースの良い香りでさらにお祭りムード満点でした。その他ダーツゲームや魚釣りゲーム、ビンゴ大会と豪華景品があたるコーナーが盛りだくさん！初日にはダーツゲームで行列が出来るほど大盛況でした。



そして今回のお祭り最大の見所は、お客様にも手伝って頂いて職員と一緒に作り上げた「おみこし」です。

ダンボールで作ったとは思えない出来栄えに、お客様も大喜びで「わっしょい！！わっしょい！！」と声を合わせてくださいました。このおみこしは毎年参加している「新大医学祭」にも出展する予定です。

今年のお祭りも大成功に終わり、お客様にも喜んでいただいて職員一同嬉しく思います。ご近所の方や、チラシを見てきてくださった方もいらっしゃいました。お手伝いに来てくださった方、職員の皆様、そして盛り上げてくださったお客様、本当にありがとうございました。

デイサービスセンター柳都大橋

渡辺 恵

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335

グループホーム三条

去る8月19日（日）、ボランティアの皆様による、歌や演奏の披露がありました。



このたび来て下さった皆様の中には、三条市「あやめ会」の方もいらっしゃって、ボランティアの方の歌われるカラオケに合わせて、三味線や尺八を演奏されるという、普段とは一味違った出し物を披露していただきました。

生楽器の演奏の迫力に、初めはお客様方も圧倒されていたようですが、次第に歌や音楽にあわせて手拍子されたり、一緒に歌われたりと、楽しんでいただけたようでした。

最後には、三条夏祭りの民謡流しでの演奏ながらの「三条音頭」を皆様で踊られて、盛況のうちに終わりました。

ぜひ機会がありましたら、またお願い致したいと思います。



グループホーム三条

関谷 聡子

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

訪問介護ステーション

前回に引き続き、介護保険に含まれない具体例をご案内いたします。

高齢の方の中には、混同されて、身の回りのことをお願いされてしまいがちです。ヘルパーはお客様の自立した生活をサポートする事と、介護を必要とされるお客様が生活を営むために必要な事以外は出来ません。

- ・ ご利用されるお客様ではなく、来客の方のお茶出し等
- ・ 医療関連行為
- ・ ご利用されるお客様の食事・洗濯は可能ですが、ついでにと、ご家族様の食事・洗濯については出来ません
- ・ ご家族様とご同居されていらっしゃる場合の家事援助は、居室など使用されている部屋については掃除できますが、共有部分（キッチン、トイレなど）の掃除は出来ません
- ・ お一人暮らしの方でも、使用されていない2階部分の掃除なども出来ません

※私どもはあとふるあたごでは、介護保険でまかなえない場合、自費契約のお勧めを行っておりますが、その分自由度が高く、選択肢も多彩です。また、それらを併用して利用される方法もございます。

訪問介護ステーション

川崎 裕子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

デイサービスセンター城北町

デイサービスセンター城北町で、お客様に大変好評いただいているサービスの一つに、「アロマ・リフレクソロジー」があります。

ある日のリフレクソロジーを行おうとした時のことです。いつも使用しているフットバスがスイッチをONにしても動きません。今までも度々調子が悪くなっていたのですが、ごまかしながら使用してきました。

「センター長！もう限界です！新しいものを購入してください！」と叫んだ時です。

「ちょっと見せて」と、フットバスをひっくり返し、配線のあたりをみた加藤様。ドライバーやペンチなどでフットバスを分解し始めました。

「ふむふむ…。ガムテープはあるか？はさみも持ってきて！」「ここを押さえて！」とスタッフを助手に

あっさり直していただきました。加藤様は、電気関係の仕事を長いことされていたとおっしゃいました。

加藤様をはじめ、お客様は長いこと続けてこられた仕事や技術があります。

加藤様、ありがとうございました。

デイサービスセンター城北町

竹内 啓泰

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335



伊東先生のコラム 第26回

丸山診療所所長 伊東浩志 先生

義肢装具士になる人がいたらいいな

日本は高齢化社会に向かって突っ走っています。

それに伴い障害者もその数を著しく増やしております。

脳出血・脳梗塞・脊髄障害・交通外傷（脊髄損傷・四肢切断）など。。。。

彼らは麻痺を負い、そして閉じこもります。

しかし、本当はほんの少しの援助で日常生活を普通の人と同じように営むことができるのです。その援助の一端を担うのが「義肢装具士」です。

足が弛緩してうまく体を支えられない人に長下肢装具を、足が下垂する人に短下肢装具を、首から下がまったく動かなくなった人に顎の動きだけで制御できる車椅子を。

さらには足を切断したけど登山したり陸上競技をしたい人用に競技用義足を。腰が痛い人にコルセットを。。。手の拘縮が出現した人にスプリントを。

そのニーズは広がるばかりです。

しかし、技士の数が圧倒的に足りない。

たまたま、新潟医療福祉大学で今年から義肢装具士科が増設されました。うれしい限りです。新潟にもようやく障害者の社会復帰を真剣に考える養成機関ができた。。。もしも、希望ある若い人で誰かの力になりたい人が居たら考えてみてください。

ホットニュース

第7期業績報告会を開催

9月7日（金）、新潟市の事業創造大学院大学にて第7期業績報告会が行われました。当日は当社事業所から管理者が集まり当期の活動を振り返りました。

第一部の冒頭、木村社長より「奮闘・努力・熱意のおかげで当社始まって以来の大変素晴らしい業績を上げることができた。皆さんの努力に感謝します。」との挨拶があり、続いて阿部経理財務課長より業績報告、原取締役より今年度以降の展望について、それぞれ発表がありました。

第二部では、株式会社イタリア軒 常務取締役副総支配人の岡澤修様をお迎えして「真のおもてなしとは」のテーマでご講演頂きました。岡澤様からは、ご自身が実際にホテルで経験されてきたエピソードを交えた興味深いお話を頂き、介護サービスと共通する点もあり、参加者は講演に熱心に耳を傾けていました。講演会後に行われた懇親会でも活発な意見交換が行われ、日頃のサービスについて改めて考える良い機会になったと思います。



開会の挨拶をする木村社長



株式会社イタリア軒
常務取締役副総支配人
岡澤修様

総務課 古野間 信介

ご協力をお願いします

社長の木村淳です。私が所属している(社)新潟法人会青年部会では地域社会貢献事業として絵本の寄贈に取り組むことになりました。

一子供たちを絵本で幸せにする「新潟法人会青年部会文庫」と題して、家庭で不要になった絵本を集め、先の中越沖地震被災地の保育園・幼稚園・病院・施設等に絵本を寄贈し、あわせて絵本朗読会を実施するというものです。



私には子供が二人いますが、「ぞうくんのさんぽ」という絵本をよく読み聞かせたことを思い出します。

皆様のご家庭に不要な絵本はありませんか？

ご協力いただければ幸いです。

♪絵本寄贈のお願い！

一子供たちを絵本で幸せにする
中越沖地震被災地の保育園・幼稚園・病院・施設等に絵本を寄贈します。

締め切り: 11月末日

送付先: (社)新潟法人会青年部会・社会貢献事業
〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 7-1243

新潟商工会議所中央会館 5階
TEL 025-223-1242

＜編集委員への連絡先＞ グループホーム三条
電話 0256(36)5555 FAX 0256(36)5556

＜編集委員＞稲野 正晃(デイサービスセンター坂井東)古野間 信介(総務部)南 洋子(居宅介護支援センター河渡本町)中山 卓(福祉用具センター柳都大橋)川崎 裕子(訪問介護ステーション)難波 淳(グループホーム三条)